

令和3年(2021年)8月30日 (月曜日)

市民意識調査

「三島に愛着」過去最高

医療や福祉、自然など重視



市民の愛着が増し「せせらぎ」も人気の三島市＝同市一番町

となり、次いで「自然」「公園・水辺空間や環境に優しいやすらの整備」、不満率は「歩道のあるまち」「災害道の整備」「生活道路に強く安全で安心して暮らせるまち」だった。市の取り組みの満足率は「せせらぎと緑やホームページで公表した花を生かしたまちづくり」の順で高かった。詳しい結果は同市のホームページで公表している。

三島市は29日まで、5月に実施した市民意識調査の結果をまとめ、発表した。9割が「市への愛着」「住みやすさ」を感じ、医療や福祉、自然、道路環境などを重視していることが分かった。郵送とインターネットで調査し、回答は1666件、回答率は58・3%だった。市への愛着率は「感じる」と答えた割合が86・8%で、2003年度の調査以来、最も高かった。「住みやすさ」も90・7%で高い数値を維持している。将来の都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しいさのあるまち」が31・2%で1位